

一般社団法人埼玉県作業療法士会
埼玉県作業療法学会査読規程

2022年3月10日

(目的)

第1条 学術部は、会員に対する学術的な活動として埼玉県作業療法学会の一般演題発表において、発表内容の水準を高める目的で査読を行う。

(査読委員の選任と任命)

第2条 査読委員は、正会員の中から学術部が候補者を選出し、県士会長が任命する。

(査読委員の選考基準)

第3条 査読委員の選考は、埼玉県作業療法士会の会員であり、以下の項目のいずれかを満たすものについて判定する。

- (1)認定作業療法士もしくは専門作業療法士
- (2)修士課程修了者以上の学歴を有する会員
- (3)埼玉県内養成校教員
- (4)上記学歴と同程度の学識経験者

査読委員の人数は、特に定めない。

(学術部および査読委員の業務)

第4条 学術部および査読委員は、第1条の目的を達成するために以下の業務を行う(資料1)。

- (1)学術部は、第3条の選考基準により査読委員の選考を行う。
- (2)応募演題の審査は、2名の査読委員と学術部によって行う。
- (3)学術部は、応募演題の専門分野に応じて査読委員を決定し、査読を依頼する(資料2)。なお、査読者が演者(筆頭、共同含む)になっている演題と査読者の所属施設から応募された演題は、当該査読者に割り当てないものとする。
- (4)査読委員は、一般演題発表の抄録を査読する。
- (5)査読委員は、一般演題発表の抄録をスコアリングシート(資料3)により採点する。査読委員2名の判定に基づき、学術部内で審査の基準に合致し、埼玉県作業療法学会の一般演題として妥当な水準であるかどうかを採否判定し、「無修正で発表可」、「修正後発表可」、「修正後再査読」のいずれかの決定を行う。
- (6)学術部と県士会長は、応募者に査読結果を通知する(資料4)。

(査読委員の任期)

第5条 査読委員の任期は2年とする。

(審査の基準)

第6条 当学会で発表される演題は以下の基準に沿って審査を行う。

(1)研究報告

- ①序論：研究の背景、研究の重要性や必要性が述べられているか
- ②目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか
- ③方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は研究の目的に合致しているか。
- ④結果：データが示されているか。統計処理の結果(危険率など)は正しく示されているか。
- ⑤考察(結論)：得られた結果が論理的に説明されているか。研究の重要性や問題点、社会に

果たす貢献などが述べられているか。考察の内容は序論や目的と整合しているか。

- ⑥研究は作業療法の発展に貢献するか。または作業療法における研究の意義が述べられているか。
- ⑦序論、目的、方法、結果、考察（結論）が構造的、論理的に記述されているか。
- ⑧文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。
- ⑨人を対象とする研究において、個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。

(2)事例報告

- ①報告の目的が明確であるか。
- ②標的問題が明確であるか。
- ③評価の指標が明確であるか。
- ④理由付けや根拠、作業療法士の意図が明確であるか。
- ⑤作業療法実施計画が明確であるか。
- ⑥介入による評価指標の変化の記述が明確であるか。
- ⑦介入が対象者の生活等に与えた影響や意味が記述されているか。
- ⑧個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。

(採点方法)

第7条 査読委員は、割り当てられた応募演題について、スコアリングシートを用いて採点する。研究報告、事例報告共に、平均点2点以上を採択とする。なお、研究報告（該当するもの）、事例報告共に、「個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。」の項目で「なし」がついた演題は、修正を求める。

(査読委員コメント)

第8条 審査の結果、スコアリングシートの平均点が1点台の場合は、今後の研究や抄録の改善に役立つコメントを必ず記入する。その内容は論理的であるとともに、応募者が理解できる文章表現でなければならない。査読委員のコメントは匿名のまま応募者に通知される。なお、コメントの内容は学術部において適宜修正することがある。

(採否判定)

第9条 査読委員2名の査読結果を原則、以下の基準をもとに行う。

- (1)応募演題の採否判定は、査読委員による審査結果に基づき学術部で行う。
- (2)最終的な採否判定は、学術部長と県士会長との協議で決定する。

附則

この規程は、2022年3月10日から施行する。

抄録受付からプログラム集掲載までのフローチャート

- ① 学術部は査読委員を選定し、県士会長が査読委員を任命する→委嘱状を発行
- ↓
- ② 抄録を受付 → 応募者に受付通知。
- ↓
- ③ 学術部 → 査読者を決定
- ↓
- ④ 査読依頼 → 随時、メールで行う。

査読依頼書、抄録 1 部、記入用紙（スコアリングシート）、査読要領をメールする。

- ↓
- ↓
- ↓
- ↓
- ⑤ 査読結果を受領（査読期間は 2 週間とする）
- ↓
- ↓

- ⑥ 2 名の査読委員の平均スコアをもとに学術部で検討

2 名の査読者が 2 点以上

査読者 1 名 2 点以上、査読者 1 名 2 点未満

2 名の査読者が 2 点未満

必要に応じて応募者に修正を求める

学術部が査読者として査読する

学術部長と県士会長が最終決定

- ⑦ 応募者に通知

無修正で発表可

修正後発表可

修正後再査読

※査読結果、発表日、発表場所、発表方法をメールにて通知する。
(学会支援委員会)

※査読結果、コメントを応募者にメールにて通知する。

- ⑧ プログラム集への掲載

資料 2

一般社団法人埼玉県作業療法士会

会長 ○○ ○○ 宛

学術部長 ○○ ○○ 宛

第 回 埼玉県作業療法学会
演題査読結果記入用紙

査読委員名 :
 受付 No :
 演題名 :
 演題受取日 : 年 月 日
 査読期限 : 年 月 日

スコアリングシート (研究報告用)

審査項目	点数				
① 序論：研究の背景、研究の重要性や必要性が述べられているか	4	3	2	1	
② 目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか	4	3	2	1	
③ 方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は研究の目的に合致しているか。	4	3	2	1	
④ 結果：データが示されているか。統計処理の結果（危険率など）は正しく示されているか。	4	3	2	1	
⑤ 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。研究の重要性や問題点、社会に果たす貢献などが述べられているか。考察の内容は序論や目的と整合しているか。	4	3	2	1	
⑥ 研究は作業療法の発展に貢献するか。または作業療法における研究の意義が述べられているか。	4	3	2	1	
⑦ 序論、目的、方法、結果、考察（結論）が構造的、論理的に記述されているか。	4	3	2	1	
⑧ 文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。	4	3	2	1	
⑨ 人を対象とする研究において、個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。	あり	・	なし	・	非該当
① ～⑧の平均点 *⑨人を対象とする研究で、「なし」の場合は修正を求める。				点	
採用基準：4点＝大変良い、3点＝良い、2点＝可、1点＝不可、平均点2点以上を採択とする。					
審査員コメント（平均点が1点台の場合は必ず記入）					

一般社団法人埼玉県作業療法士会

会長 ○○ ○○ 宛

学術部長 ○○ ○○ 宛

第 回 埼玉県作業療法学会
演題査読結果記入用紙

査読委員名 :

受付 No :

演題名 :

演題受取日 : 年 月 日

査読期限 : 年 月 日

スコアリングシート (事例報告用)

審査項目	点数			
① 報告の目的が明確であるか。	4	3	2	1
② 標的問題が明確であるか。	4	3	2	1
③ 評価の指標が明確であるか。	4	3	2	1
④ 理由付けや根拠、作業療法士の意図が明確であるか。	4	3	2	1
⑤ 作業療法実施計画が明確であるか。	4	3	2	1
⑥ 介入による評価指標の変化の記述が明確であるか。	4	3	2	1
⑦ 介入が対象者の生活等に与えた影響や意味が記述されているか。	4	3	2	1
⑧ 個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。	あり ・ なし			
① ～⑦の平均点 *⑧「なし」の場合は修正を求める。	点			

採用基準：4点＝大変良い、3点＝良い、2点＝可、1点＝不可、平均点2点以上を採択とする。

審査員コメント (平均点が1点台の場合は必ず記入)

資料3

スコアリングシート（研究報告用）

審査項目	点数				
⑩ 序論：研究の背景、研究の重要性や必要性が述べられているか	4	3	2	1	
⑪ 目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか	4	3	2	1	
⑫ 方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は研究の目的に合致しているか。	4	3	2	1	
⑬ 結果：データが示されているか。統計処理の結果（危険率など）は正しく示されているか。	4	3	2	1	
⑭ 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。研究の重要性や問題点、社会に果たす貢献などが述べられているか。考察の内容は序論や目的と整合しているか。	4	3	2	1	
⑮ 研究は作業療法の発展に貢献するか。または作業療法における研究の意義が述べられているか。	4	3	2	1	
⑯ 序論、目的、方法、結果、考察（結論）が構造的、論理的に記述されているか。	4	3	2	1	
⑰ 文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。	4	3	2	1	
⑱ 人を対象とする研究において、個人情報保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。	あり	・	なし	・	非該当
② ～⑧の平均点 *⑨人を対象とする研究で、「なし」の場合は修正を求める。	点				
採用基準：4点＝大変良い、3点＝良い、2点＝可、1点＝不可、平均点2点以上を採択とする。					
審査員コメント（平均点が1点台の場合は必ず記入）					

スコアリングシート（事例報告用）

審査項目	点数			
⑨ 報告の目的が明確であるか。	4	3	2	1
⑩ 標的問題が明確であるか。	4	3	2	1
⑪ 評価の指標が明確であるか。	4	3	2	1
⑫ 理由付けや根拠、作業療法士の意図が明確であるか。	4	3	2	1
⑬ 作業療法実施計画が明確であるか。	4	3	2	1
⑭ 介入による評価指標の変化の記述が明確であるか。	4	3	2	1
⑮ 介入が対象者の生活等に与えた影響や意味が記述されているか。	4	3	2	1
⑯ 個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。	あり	・	なし	
② ～⑦の平均点 *⑧「なし」の場合は修正を求める。	点			
採用基準：4点＝大変良い、3点＝良い、2点＝可、1点＝不可、平均点2点以上を採択とする。				
審査員コメント（平均点が1点台の場合は必ず記入）				

先生

一般社団法人 埼玉県作業療法士会
会長 ○○ ○○
学術部長 ○○ ○○

第 回 埼玉県作業療法学会
演題査読結果報告書

演者名 :
演題名 :
結果報告日 : 年 月 日
修正原稿提出期限 : 年 月 日 (必要な場合のみ)

貴殿の演題原稿を一般社団法人 埼玉県作業療法士会の査読要領に基づき査読をいたしましたので、ご報告いたします。

無修正で発表可	<input type="checkbox"/>
修正後発表可	<input type="checkbox"/>
修正後再査読	<input type="checkbox"/>

査読結果に基づきご対応よろしくお願ひします。

査読コメント